

学級への所属感が高まり、互いに認め合える生徒の育成 ～学級通信や掲示物による肯定的な意見交流の反復を通して～

【研修の概要】本研修で目指す生徒を育成するためには、「この学級でよかった」とか「学級のみんなで団結できた」と、学校生活の中で感じられる必要がある。そのために、学級で過ごす楽しさや大切さに気づきやすい活動（構成的グループ・エンカウンターやソーシャル・スキル・トレーニング）を行い、学級や友人に対する肯定的な意見をできるだけ多く出させようと考えた。それを、学級通信や掲示物、スピーチを利用して紹介し、それらに対する肯定的意見をさらに紹介するような交流を継続していけば、本研修で目指す生徒を育成できると考え、1年間の実践を行ってきた。

【自己課題設定理由】

<4月当初の学級の実態>

- 元気はよいが、はじめがつかない。
- 場の状況に合った言動ができない。
- 学級全体にかかわろうとしない。
- 不登校生徒、特別支援学級生徒所属。

<生徒アンケートから見られた傾向>

- 人の失敗をからかう雰囲気がある。
- お互いが認め合う雰囲気が少ない。
- 自己肯定感が低い生徒がいる。
- 集団で取り組む活動への参加に消極的。

一人一人の学級への所属感を高め、互いに認め合う集団づくりを進める必要がある。

【課題解決の構想図】

生徒の実態や課題、学校行事等を
関連付けた活動計画の立案

～意見交流後の気付きの共有～

- ★友達こんな関係を望んでいるのか！
- ★あの子には、こんないい面があるのか！

～生徒・教師の願いや心配～

- ★雰囲気悪いなあ・・・

学級通信や掲示物、スピーチによる
生徒同士や生徒と教師の意見交流

SGE、SSTなど肯定的な
意見の出やすい活動の工夫と実践

※肯定的な意見をとにかく
多く取り上げ、数多く紹介する。

～活動後の生徒の気付き～

- ★友達こんないい面を知った！
- ★自然に仲間と協力できたなあ！

学級への所属感 up!

互いに認め合う

【具体的実践の内容】

わたしはだあれ？
＜SGE＞

肯定的な意見の集約

- ・〇〇がよかった。
- ・△△におどろいた。

【意見交流による深まり】このクラスなら、仲良くやれる！

たかが新聞紙でも・・・
＜SGE＞

肯定的な意見の集約

- ・〇〇が頑張った。
- ・男女関係なく笑いあえた。

【意見交流による深まり】協力・団結は気持ち次第！

人間関係のトライアングル
＜SST＞

肯定的な意見の集約

- ・相手の長所を見つけたい。
- ・人の気持ちを第一に考えたい。

【意見交流による深まり】嫌な思いをする言動って、共通している！

私の五面鏡
＜SGE＞

肯定的な意見の集約

- ・自分の長所を生かしたい。
- ・〇〇が嬉しかった。

【意見交流による深まり】みんなで自分のよさを発揮しよう！

※活動直後が
ポイント

学級通信・掲示物・
スピーチによる交流

学級通信・掲示物・
スピーチによる交流

学級通信・掲示物・
スピーチによる交流

学級通信・掲示物・
スピーチによる交流

肯定的意見が次々に増えていく教室環境⇒認め合いながら、生徒が伸びる！

【研修の成果と課題】

- 通信と掲示物は形が残り、肯定的意見をいつでも見られた。スピーチは直接言葉が聞けて、喜びが倍増した。その結果、学級の雰囲気がよくなったと感じた生徒が大幅に増えた。
- 学級通信・掲示物・スピーチの三つの手段で交流したので、効果が数倍になった。多くの学校行事を制したのは、これらの活動のおかげと答えた生徒がいるところからもその影響力が分かる。
- △学級通信、家庭訪問、懇談会、電話連絡等で家庭との連携をさらに進めた学級経営をし、学校でも家庭でも存在を認められるような工夫をして、自己肯定感を高めていきたい。